Engineer プラットフォーム

バックアップと災害復旧をコードで実装

データベースのバックアップ保持をコードで設定し、復旧可能な状態を監査して復元手順を文書化。残る不足を障害時に初めて知ることがないよう明記した。

2025

コード化したバックアップと復旧状況の記録

状況. データに依存する製品で損失は許されず、「どこかにバックアップがある」は期待であって復旧計画ではなかった。価値があるのは、再構築できるとわかっている環境へ、復元できるとわかっているバックアップだけだが、製品ではその両方が未記録だった。

課題. データと周辺環境、現時点での実際の適用範囲を、想定でなく明示された復旧状況として定める必要があった。

行動. 保護対象DBと同じBicepで保持期間を設定し、特定時点復元を、誰かがポータルで一度設定した値でなくテンプレートの性質にした。周囲の環境もコードに定義した。環境を記憶で手動再構築しなければDBを戻せないのでは、本当の復旧とはいえない。その後、復元手順、測定するための訓練、残る不足を監査・記録した。地理冗長性は無効で、訓練をまだ実施していないため、目標復旧時間は実測でなく提案値であることを明示した。

結果. 復旧は曖昧な安心材料から、不足を名指しした記録へ変わった。「災害復旧完了」ほど華やかではなくても、次の担当者が対象内・対象外と、その差を埋める訓練を正確に理解できる点で、はるかに価値があった。明示した不足は塞げるが、不明な不足は障害時に発覚する。

この経験をお客様のプロジェクトに

「バックアップと災害復旧をコードで実装」を、お客様の組織の似た課題を考える出発点にしてください。この実績を支えたサービスを、お客様のプロジェクトにも提供できます。 構成全体をファイルに記述し、特定の人の記憶だけに頼らず、まったく同じ環境を再現できるようにします。

サービスを見る お問い合わせ →

結果の背景を確かめる

この事例の状況、判断、結果をご覧ください。どの部分がお客様の制約の下でも生かせるか、どこに別の方法が必要かをご相談いただけます。 バックアップと災害復旧をコードで実装 — コード化したバックアップと復旧状況の記録

サービスを見る お問い合わせ →

全停止してもすぐに復旧できますか？

納品を担当するエンジニアに、プロジェクトについてご相談ください。着手前に、業務範囲、価格の算定方法、引き継ぎ内容を書面で合意します。

担当した役割：サイト信頼性エンジニア。 関連する分野： データベース, PostgreSQL, DevOps, インフラ, クラウド および 信頼性・バックアップ. こちらのサービスも得意としています データベース管理（DBA）, コードによるインフラ管理 および バックアップ・災害復旧.

お問い合わせ サービスを見る

より多くの実績の **一つです** — そのすべてをこのサイトで公開しています。

どの項目も、状況、課題、実施内容、変化という同じ構成で記載しています。

すべての実績を見る

必要な改善を定める

デプロイの流れ、運用上のリスク、緊急対応の担当者をお知らせください。検査、復旧手段、明確な責任の所在を伴う変更の範囲を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

全停止してもすぐに復旧できますか？

「バックアップと災害復旧をコードで実装」の判断の背景についてお尋ねください。仕事内容を説明し、お客様のプロジェクトを検討できる担当者が対応します。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://platform.engineer.company/ja/portfolio/implemented-backups-and-disaster-recovery-as-code/